水　道　企　業　課

本県では、手取川ダムを水源として水道用水供給事業を行っています。将来にわたり県民のみなさまに安全で安心できるおいしい水をお届けするため、送水管の耐震化や老朽化対策に取り組んでいます。

1 水道用水供給事業

① 主な施設と給水対象

石川県水道用水供給事業は、手取川総合開発事業で建設した手取川ダムを水源として、一日最大440,000㎥を供給できる水を確保しています。

現在、鶴来浄水場は一日最大244,000㎥の水道用水を供給する能力があり、北は七尾市から南は加賀市までのうち、川北町を除く県内9市4町に給水しています。



手取川ダム

② 浄水場について

急速ろ過系の浄水施設であり、着水井、混和池、沈でん池、急速ろ過池、塩素混和池及び浄水池の各構造物を有しています。

水源	手取川ダム
浄水施設	鶴来浄水場：日量24万4千㎥　（給水能力）
送水施設	送水管延長：232km（既設 184km、2系統化 48km） 調整池：3池（金沢、辰口、津幡） 水管橋：38橋 ポンプ場：1ヶ所
給水開始年月日	昭和55年7月1日
給水対象（9市4町）	金沢市、七尾市、小松市、加賀市、羽咋市、かほく市、白山市、能美市、野々市市、津幡町、内灘町、宝達志水町、中能登町

■鶴来浄水場の概要

計画浄水量	440,000㎥/日
給水能力	244,000㎥/日
敷地面積	216,611.75㎡
建物面積	14,319.18㎡
施設概要 （　）書きは施設全体計画	着水井2池 沈でん池8池（16池） 急速ろ過池16池（32池） 浄水池6池 薬品注入設備



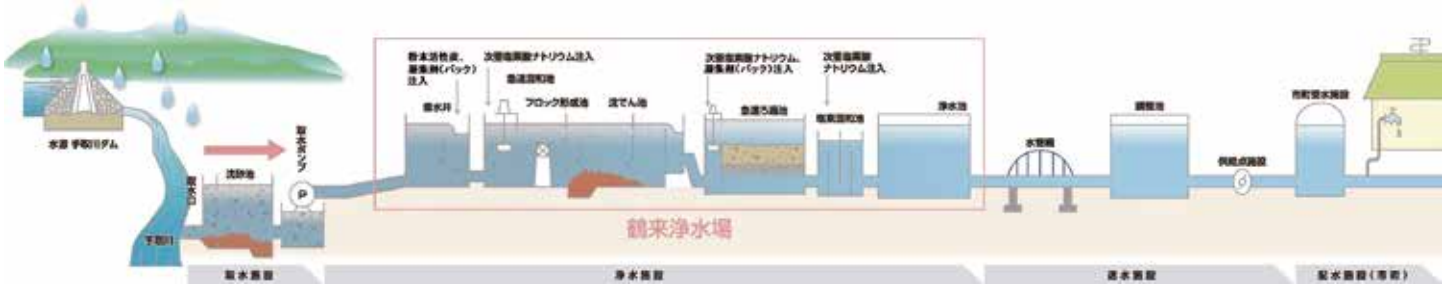
浄水施設



中央監視室



水管橋



県水供給フロー図

２ 送水管耐震化事業（２系統化）

既設送水管は、延長184kmにおよび、供用開始から概ね40年以上が経過し、老朽化が進んでいます。
平成19年に発生した能登半島地震では、七尾市内で送水管の継手が外れ、一時断水する被害が発生しました。これを契機に、平成22年度より送水管の耐震化（2系統化）を進めています。
令和６年能登半島地震では七尾市内で既設送水管の継手が外れる被害が発生しましたが、並行する耐震管には被害が確認されませんでした。このため、当初の計画を２年前倒し工事を進めており、令和12年度の完成を目指します。

送水管の現状

●既設送水管は１ルートのため、地震発生時には、長時間におよぶ断水のおそれがあります。
●メンテナンスするときは、断水しなければいけません。



送水管の被害状況(令和6年能登半島地震)

対策 送水管の耐震化(２系統化)

●既設送水管とは別ルートで耐震性の高い送水管を整備します。
●２系統化により代替性を確保します。
●断水せずに既設送水管のメンテナンスも可能となります。



送水管の離脱防止テスト

耐震性能に優れた管の採用

・耐震継手のダクタイル鋳鉄管を標準採用としています。
・耐震継手が伸縮して、地震の力を逃がすとともに、管が抜けないようにストッパー機能を持たせ、継手が外れにくい構造となっています。

